

今議会は「代表質問のみ」 一般質問は見送りに

例年通りであれば、各議員が自由なテーマで市に問いかける「一般質問」が行われる5月議会ですが、今年度は代表質問のみに限定されることが議会運営委員会で決定されました。

そのため、私は今回、登壇の機会がありませんでした。



給食無償化へ 国の責任で“質と量”の確保を！

大阪維新の会も賛成。[以下解説]

令和8年度から小学校で学校給食の無償化が始まることを受け、吹田市議会では、給食の「質」と「量」の確保を国の責任で行うよう強く要望する意見書を提出しました。物価高騰などの影響により、自治体の予算だけでまかなうには限界があることから、安定した給食提供のために十分な予算措置を講じるよう求めています。また、全ての子どもたちが恩恵を受けられる制度設計や、地産地消・食育の観点からも充実した給食提供体制の構築を目指すべきだとしています。

市議会議案 - 可決！



消費税を一時的にでも引き下げを

大阪維新の会も提案会派に。[以下解説]

物価高騰が続く中、国民の生活や中小企業の経営を守るために、消費税率の引下げを求める意見書を提出しました。時限的措置を含めた柔軟な税率引下げにより、物価高騰による国民生活の苦しさを和らげるよう政府に要請しています。

市議会議案 - 可決！



吹田市議会から国への意見書

旧山田第五小学校の空調設置と活用方針について

大阪維新の会から意見致しました。[以下要旨]

すでに生徒の部活動などに利用されている旧山田第五小学校の屋内運動場(体育館)について、早期に空調設備を設置すべきである。

夏季の熱中症リスクが高まる中、子どもたちの安全を確保するための対策は喫緊の課題。教育長も早期に活用方針を示す考えを示しており、それに沿ったスピーディーな判断が求められる。また、同施設は借地であり、年間1,200万円という賃借料が市の財政に与える影響も小さくなく。施設の必要性和費用対効果を丁寧に検討し、適切な活用または返還の判断を下すよう求める。

南千里に“保育園”…まちづくり戦略との整合性は？

大阪維新の会から意見致しました。[以下解説]

南千里庁舎の跡地の一部を活用して保育施設を誘致するという議案に対し、保育ニーズの高まりに迅速に応じる必要性は認めつつも、都市全体のランドデザインに即した土地活用の必要性が指摘されました。特に南千里駅前という市内でも貴重な一等地に、次々と公共施設が配置されることで、まちの景観や将来的な開発の余地が損なわれる可能性があるとして指摘。中消防署跡地や山五小跡地など、他の公共施設の利活用と合わせて、全庁的かつ長期的視点で戦略的な都市構想を描くよう、市長・副市長に強く要望しました。

吹田市議会から国会への意見書

予算に対する吹田党の行動、理解に苦しむ…。

退席 → 動議提出 → 原案賛成 …その意図は？

今議会の予算案件をめぐる吹田党の一連の行動が「一貫性」について疑問が残るところです。吹田党は、まず予算委員会では採決に加わず「退席」、次に本会議ではその議案に対して独自の「動議」を提出しました。しかし、この動議は賛成少数（賛成は吹田党と参政党と諸派）で否決。ところが、その後の原案採決では「賛成」に回るという立場の転換が見られました。原案に納得できないから動議を出すのであって、こうした不可解な行動は、市民に対する説明責任や政党の信頼性という観点からも評価しがたい事案でありました。